

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 各教科・科目におけるESD視点の見直し

授業内容の見直しを各教科で行い、シラバスに持続可能な社会作りの6つの構成概念と学習指導で重視する7つの能力を明記し、ESD視点の見える化を図っている。

2 ESD研究活動大賞発表会

本校でESD活動を積極的に行っている諸団体の研究活動発表会を行った。普通科・機械電気システム科・ESD部・科学部・国際交流部より計9団体から応募があった。発表タイトルは以下の通りである。

普通科特進コース：「フェアトレード活動報告」

普通科進学アドバンスコース：「ゴミの分別問題を考える」

普通科進学コース：「世界寺子屋運動」

機械電気システム科：「工業化における地域と協働した防災活動」

機械電気システム科：「ESD活動を通じたものづくりと人づくり」

ESD部：「にっしんCOOL CHOICE プロジェクト」

ESD部：「『愛キャップ』ペットボトルキャップのリサイクルについての調査」

科学部：「科学部 ウシモツゴプロジェクト」

国際交流部：「What can we do for developing A&C's relationship?」

3 総合的な学習の時間におけるESD概論科目（3年生対象）

3年生の総合的な学習の時間の選択科目の一つとしてESD概論科目が設定されている。この講座は課題解決能力や論理的思考力やプレゼン能力などを育むことを目的とする。生徒15名程度がこの講座を受講した。グループごとに設定したテーマに応じて研究、発表を行った。主な研究テーマは、「生態系」「世界遺産の重要性」「地震」などであった。グリーンカーテンの植え付けなども行った。

4 総合的な学習の時間における国際理解学習と平和学習（2年生対象）

2年次の総合的な学習の時間では、独自教材を使用し、修学旅行訪問先であるシンガポールと長崎（選択制）について教科横断的に文化や歴史などを学習した。各生徒にシンガポールや長崎訪問の課題を持たせ、現地での体験を通して一連の国際理解や平和学習となるプログラムを構築している。

5 高大連携によるESD活動

中部大学と連携し、ESD講演会やプレゼン講座などを行った。また、中部大学中高大連携フォーラムで活動発表を行った。

6 地域におけるESD活動

今年度は地域におけるESD活動や普及活動を充実させた。「にっしん市民まつり」や「にっしんわいわいフェスティバル」に機械電気システム科やESD部、特進コースの生徒が参加し、活動発表やフェアトレードショップの運営を行った。

7 ESD普及活動 ユネスコスクール・ESD通信の発行

ESD活動の活性化を目標に、交流会やホームページ等を通してESD通信の校内外への発信を行った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ESD部・科学部などの活動）